

# 算数の観点

## 1. 学習指導要領への対応

### (1) 「主体的・対話的で深い学び」の実現

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業展開がしやすく、言語活動や体験活動を取り入れた学習活動が充実できるよう、工夫されているか。

### (2) 学習基盤の育成及び教科等横断的な視点

言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力や現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を教科等横断的な視点に基づいて育まれるよう工夫されているか。

### (3) 教科の目標への適合

学習指導要領算数科の目標に照らし、内容が適切に取り上げられているか。

#### 【算数科の目標】

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。
- (2) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

## 2. 内容について

### (1) 県の教育施策への適合

県教育振興基本計画に照らし、内容が適切に取り上げられているか。

### (2) 児童への適合

- ・内容が系統的・発展的に配列されているか。
- ・児童の発達の段階に応じた活字の大きさ・文字数・文章表現等がなされ、文章が平易で理解されやすく、記述の分量は適切であるか。

### (3) 地域性への適合

話題や題材が地域性を考慮した内容の広がりをもったものであるか。

### (4) 補充的・発展的な学習

- ・個々の児童の理解に応じ、きめ細かな指導ができるよう配慮されているか。
- ・1人1台端末等のICT環境を活用した学習活動ができるよう配慮されているか。

## 3. 造本等

### (1) 印刷・製本

活字・写真・図表等の印刷が鮮明で、表紙・装丁・紙質がよく、製本がしっかりしているか。

### (2) 扱いやすさ

判型、厚さ、重量等、児童が学習する上で、扱いやすいように配慮されているか。

	発行者	2 東京書籍	発行者	4 大日本図書
書名		新しい算数		たのしい算数
学習指導要領への対応		<p>(1) 「学びのとびら」では、問題解決の過程を示し、主体的・対話的な学びを促し、数学的に考える資質・能力を高めている。単元前半は資質・能力を確実に育むための吹き出しや補助発問が多く、後半は自らの資質・能力を発揮し、問題に取り組む構成となっている。</p> <p>(2) 教科等横断的な教材を取り上げ、一部にマークを付している。4年以上の「算数で読みところ」では、データを読解・解釈したり判断したりする活動を取り入れ、汎用的な資質・能力を育むよう配慮している。4年以上で「プログラミングを体験しよう」を設けている。</p> <p>(3) 「既習の活用」「発展的、創造的な学び」「次時へと学びをつなぐ」という単元の構成になっており、学びの連続性に配慮している。「同じように考えると」「それなら」を設け、数学的な見方・考え方を介して統合的・発展的に考察できるよう工夫している。</p>		<p>(1) 協働的な学びの授業の様子をイラストや写真で多く示し、児童自身が疑問や課題を見いだし、主体的で対話的な学びのイメージをもつことができるよう工夫している。学習過程が明確となるよう、教科書の左右に問題解決学習の過程のタグを付けている。</p> <p>(2) 他教科等に関連する活動や題材を適宜扱い、分かりやすくリンクのマークを付している。各種の学力調査で課題とされている読解力、活用力、表現力を育成するための「読み取る力をのぼそう」を設けている。プログラミングに触れる活動を全学年に取り入れている。</p> <p>(3) 「算数の大切な考え方」では、児童に意識させたい数学的な見方・考え方を「ひらめきアイテム」としてまとめ、活用しやすいよう工夫している。自ら学習を発展させていく態度を育むために、学習を振り返って新しい問題を見いだす様子などを例示している。</p>
内容		<p>(1) 4年以上の上巻巻頭の「私と算数」や、表紙の作品などで多様な職業の方が算数との関わりを語った文章を載せるなど、キャリア教育との関連を図っている。環境、防災・安全、健康に関連する内容も取り上げている。</p> <p>(2) 1年では幼児期の活動を想起させるページ、6年では中学校数学の内容に触れる単元を設けている。吹き出し内の言葉を精選して余白を増やし、見やすい紙面構成にするとともに、思考力、表現力を伸ばす工夫をしている。</p> <p>(3) SDGs の話題を取り上げるとともに、日常生活に関わる単元導入や、生活に活用する「いかしてみよう」を掲載し工夫している。</p> <p>(4) 「ほじゅうの問題」や「おもしろ問題にチャレンジ」などにより、個に応じて、基礎的・基本的な内容をより確実に身に付けたり深めたりできるよう配慮している。デジタルコンテンツでは、児童が具体操作できるものが多く自主的に学習できるようになっている。</p>		<p>(1) 「算数お仕事インタビュー」の掲載、外国にルーツをもつキャラクターの登用など、キャリア教育の視点や人権及び国際理解としての多様性へ配慮している。環境、防災・安全、健康・食育に関連する内容も取り上げている。</p> <p>(2) 1年は幼保とのつながりを示唆するページ、5・6年は中学校数学の学習との接続を意図したページを設定している。目次では、領域別に色分けし、既習事項や今後の学習とのつながりを明示している。</p> <p>(3) SDGs の話題を取り上げるとともに、身の回りから算数を探る活動や、生活に活用する「おうちで算数」を掲載し工夫している。</p> <p>(4) 補充問題「プラス・ワン」や、発展的な問題に取り組むための「チャレンジ」のデジタルコンテンツを設けるなど、個に適した学びに対応できるよう配慮している。同コンテンツでは、教材を動的に提示するなど、学習内容の理解を深められるよう工夫している。</p>
造本		<p>(1) ユニバーサルデザイン書体を使用し、活字・図表等が鮮明であり、淡い配色を基本として紙面が見やすい。</p> <p>(2) 2～5年は上下巻があり、6年は合冊である。1年は2分冊構成であり、第1巻はA4判で操作活動や書き込みをしやすくしている。軽量で丈夫な用紙を使用し、教科書の軽量化に配慮している。</p>		<p>(1) ユニバーサルデザイン書体を使用し、活字・図表等が鮮明であり、色彩は目にやさしい色合いで、紙面が見やすい。</p> <p>(2) 1年は2分冊構成で、第1巻はA4判で操作活動や書き込みをしやすくしている。2～6年は学年1冊の合冊である。巻末の問題の答えをデジタルコンテンツで確かめられるようにし、ページ数を削減している。</p>

	発行者	1 1 学校図書	発行者	1 7 教育出版
書名	みんなと学ぶ小学校算数		小学算数	
学習指導要領への対応	<p>(1) 「はてなを発見」で課題意識をもたせ、自力解決→対話→解決(まとめ)→最後に「はてな」という問題解決型学習の充実を図っている。単元終了時には「考え方モンスター」で学びの振り返りを行い、日常事象や次時の問題につなげ、深い学びができるよう工夫している。</p> <p>(2) 他教科等との関連に配慮しており、「算数をつかって」では、総合的な学習の時間としても扱える話題を取り上げ、現代的な教育課題にも対応できるよう工夫している。各学年にプログラミングに関するページを設け、論理的な思考を育めるよう配慮している。</p> <p>(3) 数学的な見方・考え方を9体の「考え方モンスター」で示し、問題解決の過程で側注として提示し、見方・考え方を働かせながら問題を解決できるようにしている。「学びの地図」で、前の学年で身に付けた見方・考え方を振り返ることができるよう工夫している。</p>		<p>(1) 問題発見力、解決力、追究力を育てるために、身近な事象から問題発見を行い、問題を解決する手掛かりを示している。単元終了時には4コマ漫画で算数の見方・考え方を振り返り、「算数ワールド」で発展的な問題を扱い、深い学びができるよう工夫している。</p> <p>(2) 単元導入で、教科等横断的に取り組める教材を掲載したり、「だったら!？」で問いを広げるなど、学びを広げ深めることができるよう工夫している。全学年でプログラミング教材を取り入れ、プログラミング的思考が育めるよう配慮している。</p> <p>(3) 巻頭で既習の数学的な見方・考え方を振り返ることができ、「つながるミカタ」で見方・考え方を顕在化し、自ら活用していけるように構成している。また、領域を越えて見方・考え方をつなぎ、そのよさについての理解を深めていけるよう工夫している。</p>	
内容	<p>(1) 「算数をつかって」や「できるようになったこと」などで、キャリア教育との関連を図っている。環境、防災・安全、情報、伝統文化、国際理解など様々な教育課題に関連する内容も取り上げている。</p> <p>(2) 1年では幼保で慣れ親しんだ場面を設け、6年では中学校でも活用できる内容(別冊)を備えることで、それぞれの接続が円滑に移行するよう工夫している。3年以上で倍の概念に関する内容を系統的に位置付けている。</p> <p>(3) SDGsの話題を取り上げるとともに、「算数を使って」では、学習内容を社会や日常生活とつなげられるよう工夫している。</p> <p>(4) 「できるようになったこと」や「ほじゅうの問題」などにより、各単元で学んだことの補充的・発展的な問題に取り組むことができ、理解を深められるようにしている。「算数パトロール隊」やデジタルコンテンツにおいても、苦手な問題に対応できるよう工夫している。</p>		<p>(1) 「広がる算数」を設け、環境、防災・安全、健康、伝統文化、情報、数学の歴史など、様々なテーマの教材を通して、社会の変化に対応し次代を形成していく力を育む内容を取り上げている。</p> <p>(2) 1年では児童の気付きを大切にし、6年では中学数学につながる教材にも触れ、工夫している。学習の系統性を踏まえ、スパイラルに学習を重ね合わせながら、基礎・基本となる学習内容が確実に定着できるようにしている。</p> <p>(3) SDGsの話題を取り上げるとともに、「学んだことを使おう」では、学習内容を社会や日常生活とつなげられるよう工夫している。</p> <p>(4) 「算数ワールド」や「広がる算数」では、応用・活用問題を扱い、習熟度に応じて学習できるように配慮している。デジタルコンテンツでは、視覚的に理解しやすいアニメーションや試行錯誤できる具体操作を通して、自主的に学習できるよう工夫している。</p>	
造本	<p>(1) ユニバーサルデザイン書体を使用し、活字・図表が鮮明であり、柔らかい色調で紙面が見やすい。</p> <p>(2) 6年以外は上下巻がある。6年は合冊で、別冊「中学校へのかげ橋」がある。B5判より横幅が長く、紙面が整理され見やすくなるよう配慮している。本を開きやすくする柔軟性のある作りである。</p>		<p>(1) ユニバーサルデザイン書体を使用し、活字・図表が鮮明であり、落ち着いた色彩で紙面が見やすい。</p> <p>(2) 2～4年は上下巻があり、1・5・6年は合冊である。本を開きやすくする製本の工夫をしている。紙の強度を維持しつつ、軽量の紙を使用することで、児童の身体的な負担に配慮している。</p>	

	発行者	6 1 啓林館	発行者	1 1 6 日本文教出版
書名	わくわく算数		小学算数	
学習指導要領への対応	<p>(1) 「算数の学習の進め方」で、自ら課題を見付け、その課題について協働的に解決する学習の進め方を示している。日常の事象や既習内容をベースに主問題を設定し、その全てに「めあて」と「まとめ」を示し、児童が主体的に学習に取り組めるよう工夫している。</p> <p>(2) 他教科等との関連に十分配慮している。数量の関係や問題の条件に着目して解決する文章題を扱い、思考力を育成できるよう工夫している。全学年で「わくわくプログラミング」の単元を設け、論理的な思考力を育成するよう配慮している。</p> <p>(3) 「見方・考え方を深めよう」を設定し、数学的活動を通して、数学的な見方・考え方を働かせながら、主体的に解決する力を育成できるよう工夫している。また、問題解決の際に有効な考え方や図、表などのかき方を系統的に取り上げている。</p>		<p>(1) 「自分でみんなで」では、自分で考え、話し合い、結果を導き出すまでを表現し、見方・考え方を含めた具体的な思考の過程を示すなど、意欲を高められるよう工夫している。新しい学習に入る前に既習問題を設け、始まりをスムーズにできるよう配慮している。</p> <p>(2) 「算数ジャンプ」や「算数マイトライ」等により、探究的な内容や教科等横断的な課題に取り組むことができるよう工夫している。プログラミング的思考を育むための「レッツ プログラミング」を全学年に設け、段階的に学習できるようにしている。</p> <p>(3) 「学び方ガイド」や「算数で使いたい見方・考え方」の一覧を見て、児童が自身の学びの過程や変容を自覚できるように促すなどの工夫をしている。「めあて」の近くには「見方・考え方」として学びの着眼点を配置し、学習の流れが一目で分かるようにしている。</p>	
内容	<p>(1) 3年以上に「わくわくSDGs」を設けて、環境、防災、健康・食育との関連を図っている。外国ルーツのキャラクターなど、多様性を認める配慮ができています。国際理解、伝統・文化に関連する内容を取り上げている。</p> <p>(2) 1年では幼児期の活動を算数の学習につなげ、4年以上では「数学のとびら」や「はってん」により、数学とのつながりを示している。割合や統計などについて、系統性を踏まえスパイラルに学習できるよう配慮している。</p> <p>(3) SDGs の話題を取り上げるとともに、単元導入時や「算数の自由研究」では探究活動の楽しさに触れられるように工夫している。</p> <p>(4) 「もっと練習」では基本問題と挑戦問題を用意し、「学びをいかそう」では、活用・探究を促すなど、個に適した学びへ対応している。デジタルコンテンツでは、具体操作や解説動画を効果的に組み合わせることで、学びが深まるように配慮している。</p>		<p>(1) 「算数ジャンプ」では、環境・リサイクル、消費と生産、食文化、五輪などに関連のある題材や話題などを幅広く取り上げている。性別、障害、人種等の多様性に配慮した挿し絵を用いている。</p> <p>(2) 1年では幼児期の活動を算数につなげる導入を設け、5・6年では「中学校接続マーク」や数学へつながるコーナーを設け、円滑な接続を目指している。目次では領域別に色分けし、既習事項とのつながりを明示している。</p> <p>(3) SDGs の話題を取り上げるとともに、「使ってみよう」では、学習内容を社会や日常生活とつなげられるよう工夫している。</p> <p>(4) 「算数マイトライ」は、児童の実態に応じて柔軟に取り扱うことができ、習熟度別に活用できるよう工夫している。デジタルコンテンツには、具体操作やアニメーション、既習事項を振り返る内容などがあり、個に適した学びができるように配慮している。</p>	
造本	<p>(1) ユニバーサルデザイン書体を使用し、活字・図表が鮮明であり、紙面構成が読みやすくなるよう配慮している。</p> <p>(2) 2～4年は上下巻があり、5・6年は合冊である。1年は2分冊構成であり、第1巻はA4判で操作活動や書き込みをしやすくしている。丈夫で軽い用紙を使用し、堅牢な製本である。</p>		<p>(1) ユニバーサルデザイン書体を使用し、活字・図表が鮮明であり、見やすく分かりやすい紙面である。</p> <p>(2) 2～4年は上下巻があり、5・6年は合冊である。合冊はしおりのひもを付け、装丁を工夫している。1年は分冊で、第1巻はより薄く、児童への負担を軽減している。軽量化した再生紙を使用している。</p>	

# 理科の観点

## 1. 学習指導要領への対応

### (1) 「主体的・対話的で深い学び」の実現

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業展開がしやすく、言語活動や体験活動を取り入れた学習活動が充実できるよう、工夫されているか。

### (2) 学習基盤の育成及び教科等横断的な視点

言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力や現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を教科等横断的な視点に基づいて育まれるよう工夫されているか。

### (3) 教科の目標への適合

学習指導要領理科の目標に照らし、内容が適切に取り上げられているか。

#### 【理科の目標】

自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、問題解決の力を養う。
- (3) 自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。

## 2. 内容について

### (1) 県の教育施策への適合

県教育振興基本計画に照らし、内容が適切に取り上げられているか。

### (2) 児童への適合

- ・内容が系統的・発展的に配列されているか。
- ・児童の発達の段階に応じた活字の大きさ・文字数・文章表現等がなされ、文章が平易で理解されやすく、記述の分量は適切であるか。

### (3) 地域性への適合

話題や題材が地域性を考慮した内容の広がりをもったものであるか。

### (4) 補充的・発展的な学習

- ・個々の児童の理解に応じ、きめ細かな指導ができるよう配慮されているか。
- ・1人1台端末等のICT環境を活用した学習活動ができるよう配慮されているか。

## 3. 造本等

### (1) 印刷・製本

活字・写真・図表等の印刷が鮮明で、表紙・装丁・紙質がよく、製本がしっかりしているか。

### (2) 扱いやすさ

判型、厚さ、重量等、児童が学習する上で、扱いやすいように配慮されているか。

	発行者	2 東京書籍	発行者	4 大日本図書
書名	新しい理科		たのしい理科	
学習指導要領への対応	<p>(1) 単元の導入を重視し、問題をつかむための体験活動や身近な事象を提示している。自由に発想し、主体的・対話的に問題を見いだすことができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 算数科とのつながりを提示し、技能面の関連が図れるよう構成されている。また、他教科とのつながりが感じられるよう工夫されている。</p> <p>(3) キャラクターの発言の中で、理科の見方・考え方を提示し、児童の思考の手助けになるよう工夫されている。問題解決の流れをラインでつないで分かりやすく表記している。また、一段組の記載により、児童の思考を助けるための工夫がされている。</p>		<p>(1) 単元の導入は見開きで、ダイナミックな写真やイラストにより主体的に取り組み、対話を通して、学習問題を解決していくように構成されている。</p> <p>(2) 生活科での学習経験を生かした内容構成や技能面の関連が図れるよう算数科の指導事項を記載し、教科等横断的な視点に基づき構成されている。</p> <p>(3) キャラクターによる対話は、せりふを全文掲載せず、その後を考えさせることで、思考力・判断力・表現力等の育成ができるよう工夫されている。問題解決の流れをラインでつないで分かりやすく表記している。また、自分の成長や学習内容の確認ができるよう振り返りの欄を設けている。</p>	
内容	<p>(1) 児童の関心意欲を高めるために、導入部分の事象の取り上げ方や提示方法が工夫されている。また、防災教育・キャリア教育・SDGs・伝統についての考えをもてるような場面が設けられている。</p> <p>(2) 巻頭にて該当学年で学ぶことと巻末に年間の振り返りが記載され、児童の科学的概念が形成されるよう系統性を重視した構成となっている。</p> <p>(3) 関東近辺及び本県の土地の様子が紹介されており、身近な自然やそれらが与える生活への影響に意識が広がるよう工夫されている。</p> <p>(4) 児童一人一人の興味関心に応じた多様な写真や動画の資料、さらには観察・実験の結果等を書き込めるデジタルコンテンツが用意され、個別最適な学びが図られるよう工夫されている。また単元末には身に付いた力を確認できるような振り返りや今後の学習が用意されている。</p>		<p>(1) 身近な題材を取り上げたり、問題解決の流れがよく分かるように構成されたりしている。また、防災教育・キャリア教育・SDGs・伝統について自分の考えをもてるような場面が設けられている。</p> <p>(2) 既習内容や生活経験を想起しやすく工夫されており、系統的に学習が進められるよう構成されている。</p> <p>(3) 関東近辺及び本県の特色のある土地の様子について多くの写真が掲載されており、身近な環境に意識が広がるよう工夫されている。</p> <p>(4) 児童の学習進度及び理解度に応じたデジタルコンテンツが用意され、ICT機器を活用しながら、個別最適な学びが図られるよう工夫されている。また、巻末には学習の振り返りや科学館や博物館が紹介され、探究的な学びを促す工夫がされている。</p>	
造本	<p>(1) ユニバーサルデザインを意識した色使いや書体を採用し、色名を記載している。該当学年で学ぶ漢字と「まとめ」については、全てのものにふりがなが付けられている。</p> <p>(2) 判型はA4判で、全学年1冊の合本である。デジタルコンテンツへの移行でページ数を削減している。目次は裏表紙にある。</p>		<p>(1) ユニバーサルデザインを意識した色使いや書体を採用し、色名の明記、文字や線への白縁取りの配慮がある。該当学年で学ぶ漢字には、全てのものにふりがなが付けられている。</p> <p>(2) 判型はA4判で、全学年1冊の合本である。目次は巻頭にある。</p>	

	発行者	11 学校図書	発行者	17 教育出版
書名	みんなと学ぶ小学校理科		未来をひらく小学理科	
学習指導要領への対応	<p>(1) 単元の導入では、身に付けたい資質・能力を明記し、既習事項と関連付けて問題解決が図れるようにしている。主体的に取り組めるよう大きく写真を掲載し、対話しながら問題を見いだせる工夫をしている。</p> <p>(2) 技能面の関連が図れるよう算数科とのつながりを提示し、教科等横断的に学習を進められるよう構成されている。</p> <p>(3) 単元で身に付けたい資質・能力をキャラクターの会話でヒントを示すことや、学習の流れをラインでつなげて表記することにより、見通しをもって学習を進められるよう工夫されている。また、単元末には補充・発展的な内容や自己評価を用意し、深い理解へつながるように構成されている。</p>		<p>(1) 単元の導入では、既習事項を振り返り学習したことを関連付けて考えられるよう工夫している。主体的に取り組めるよう大きく写真を掲載し、対話しながら問題を見いだせる工夫をしている。</p> <p>(2) 技能面の関連が図れるよう算数科、国語科を提示し、他教科とのつながりが分かりやすく構成されている。</p> <p>(3) 先生の間いかけにキャラクターが対話するイラストを提示し、多様な考え方を引き出そうとしている。対話では、見方・考え方で注目するところを工夫している。また、単元の始めと終わりには、見方・考え方の変容を比べて提示する工夫がされている。</p>	
内容	<p>(1) 児童が見通しをもち主体的に取り組めるように、問題解決で身に付ける力やその過程が分かりやすく示されている。また、キャリア教育・SDGs・防災教育と関連させ学びを生かせるような工夫がされている。</p> <p>(2) 季節に応じた単元や理科の見方・考え方を効果的に育成できるよう、系統的な単元構成の工夫がされている。</p> <p>(3) 関東近辺の自然や土地の様子が紹介され、環境と土地の構成については、本県の様子が掲載され、身近な環境に意識が広がるように工夫されている。</p> <p>(4) 記録・発表の方法を複数提示したり、ICT機器マークで示されたデジタルコンテンツを用意したりと個別最適な学びが図られるよう工夫されている。また、巻末では、ものづくりや学びの振り返り、説明活動が用意され、活用力と理解の深化を図れる構成がなされている。</p>		<p>(1) 児童の関心意欲を高めるために、問題解決の過程を分かりやすく構成されている。また、防災教育・キャリア教育・SDGsについて、自分の考えをもてるような場面が設けられている。</p> <p>(2) 既習内容を想起させ、学習のつながりが分かりやすく提示され、系統的に学習が進められるよう構成されている。</p> <p>(3) 関東近辺及び本県の土地の様子が紹介されており、身近な自然やそれらが生活に与える影響に意識が広がるよう工夫されている。</p> <p>(4) ICT機器を使って観察実験する場面や記録する方法を提示している。学習に役立つ内容や情報はデジタルコンテンツで用意され、個別最適な学びが図られるよう工夫されている。巻末には、学びの振り返りや確認が用意され、知識や技能が身につく、深い学びにつながるよう構成されている。</p>	
造本	<p>(1) ユニバーサルデザインを意識した色使いや書体を採用し、色名を記載している。該当学年で学ぶ漢字には、単元内で新出のものにふりがなが付けられている。</p> <p>(2) 判型はA B判で、全学年1冊の合本である。目次は裏表紙にある。</p>		<p>(1) ユニバーサルデザインを意識した色使いや書体を採用し、色名を記載している。該当学年で学ぶ漢字には、単元内で新出のものにふりがなが付けられている。</p> <p>(2) 判型はA B判より縦が15mm長くなっており、全学年1冊の合本である。目次は巻頭にある。</p>	

	発行者	26 信州教育出版	発行者	61 啓林館
書名	楽しい理科		わくわく理科	
学習指導要領への対応	<p>(1) 単元の導入で身近な生活経験や既習事項を取り上げ、児童が追究する疑問を明確に意識させるなど主体的・対話的な学びを充実させる工夫がされている。</p> <p>(2) 図画工作科や音楽科など、他教科とのつながりを感じられるように構成されている。</p> <p>(3) 活動している様子の写真やイラストを多く取り上げることで、注目するポイントが明確になるよう工夫されている。問題解決の流れが分かりやすく構成されており、検証すべき点や実証点が示されている。キャラクターによる話し合いの場面を取り入れ、互いに考え合い、話し合うことの充実につながるよう工夫されている。</p>		<p>(1) 授業の終末において、分かったことから新しい問題を見いだす場を設けることで、次時の導入につなげ、主体的で深い学びになるよう工夫されている。</p> <p>(2) 生活科での学習経験を生かした構成や技能面の関連が図れるよう、算数科とのつながりが感じられるよう構成されている。</p> <p>(3) キャラクターのせりふの中にある、理科の見方・考え方にマーカーが引かれてあり、視点をもたせたり、セリフでヒントを与えたりして、科学的な思考力を高めるよう工夫されている。また、問題解決の各活動の項目を一本のラインで結んで表記することで、見通しをもって学習を進められるようにしている。</p>	
内容	<p>(1) 児童の関心意欲を高めるために、導入において「体験活動」や「話し合い活動」が設定されている。また、防災教育・SDGsについて、自分の考えをもてるような場面が設けられている。</p> <p>(2) 単元の導入では、既習事項について端的に示し、まとめでは、中学校につながる発展的な内容を掲載しており、系統的な視点で学びを深める工夫がされている。</p> <p>(3) 地域の気候や土地のつくりを生かした内容を充実させることで、知識・理解の広がりを持てるよう工夫されている。</p> <p>(4) インターネットを適切に活用するための配慮がされている。学習の参考となるデジタルコンテンツが多数用意されており、個別最適な学びが図られるよう工夫されている。</p>		<p>(1) 日常生活や社会に関連した話題が多く掲載されていることで、理科を学ぶ意義や有用性が感じられるよう工夫されている。また、防災教育・キャリア教育・SDGsについて自分の考えをもてるような場面が設けられている。</p> <p>(2) 単元の導入場面において、他学年での既習内容が大きく示されていることで、系統的に学習が進められるよう工夫されている。</p> <p>(3) 関東近辺及び本県の特色のある土地の様子について多くの写真が掲載されており、身近な環境に意識が広がるよう工夫されている。</p> <p>(4) 児童の学習進度及び理解度に応じたデジタルコンテンツが用意され、ICT機器を活用しながら、個別最適な学びが図られるよう工夫されている。また、デジタルコンテンツでの補充問題が用意され、知識の深化と思考力の育成を図っている。</p>	
造本	<p>(1) カラーユニバーサルデザインを採用し、色名を記載している。該当学年で学ぶ漢字には、見開き単位で新出のものにふりがなが付けられている。</p> <p>(2) 判型はA B判で、全学年1冊の合本である。目次は裏表紙にある。</p>		<p>(1) ユニバーサルデザインを意識した色使いや書体を採用し、色名の明記、文字や線への白縁取りの配慮がある。該当学年で学ぶ漢字には、見開き単位で新出のものにふりがなが付けられている。</p> <p>(2) 判型はA B判で、全学年1冊の合本である。目次は巻頭にある。</p>	



# 生活の観点

## 1. 学習指導要領への対応

### (1) 「主体的・対話的で深い学び」の実現

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業展開がしやすく、言語活動や体験活動を取り入れた学習活動が充実できるよう、工夫されているか。

### (2) 学習基盤の育成及び教科等横断的な視点

言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力や現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を教科等横断的な視点に基づいて育まれるよう工夫されているか。

### (3) 教科の目標への適合

学習指導要領生活科の目標に照らし、内容が適切に取り上げられているか。

#### 【生活科の目標】

具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。
- (2) 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。
- (3) 身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

## 2. 内容について

### (1) 県の教育施策への適合

県教育振興基本計画に照らし、内容が適切に取り上げられているか。

### (2) 児童への適合

- ・内容が系統的・発展的に配列されているか。
- ・児童の発達の段階に応じた活字の大きさ・文字数・文章表現等がなされ、文章が平易で理解されやすく、記述の分量は適切であるか。

### (3) 地域性への適合

話題や題材が地域性を考慮した内容の広がりをもったものであるか。

### (4) 補充的・発展的な学習

- ・個々の児童の理解に応じ、きめ細かな指導ができるよう配慮されているか。
- ・1人1台端末等のICT環境を活用した学習活動ができるよう配慮されているか。

## 3. 造本等

### (1) 印刷・製本

活字・写真・図表等の印刷が鮮明で、表紙・装丁・紙質がよく、製本がしっかりしているか。

### (2) 扱いやすさ

判型、厚さ、重量等、児童が学習する上で、扱いやすいように配慮されているか。

	発行者	2 東京書籍	発行者	4 大日本図書
書名		どきどきわくわく 新編 あたらしいせいかつ 上 あしたへジャンプ 新編 新しい生活 下		新版 たのしいせいかつ 上 だいすき 新版 たのしいせいかつ 下 ひろがれ
学習指導要領への対応		<p>(1) 単元ごとの見出しや吹き出しに児童の意欲を引き出す問いかけがあり、見通しをもって主体的に取り組めるよう配慮されている。「見方・考え方」を生かしている姿がイラストによって例示されており、対話により深い学びができるように工夫されている。</p> <p>(2) 幼児教育からの円滑な接続を踏まえ、他教科との関連的な指導のヒントや、関連を図った学習活動例や表現活動例が掲載されている。</p> <p>(3) 目標に則し、身近な人々、社会及び自然と関わりながら、個々の児童が思いや願いから意欲をもって主体的に活動できるように構成されている。</p>		<p>(1) 単元の導入ではダイナミックな写真や絵を用いて、児童の主体的な活動が始まるよう工夫されている。気付きの交流場面の挿し絵を多く例示することで協働的に学び合いながら自分の考えを広げ深められるように工夫されている。</p> <p>(2) 言語能力を育むために話し合い方や発表の仕方を分かりやすく示したり、他教科の学習と相互に関連させた体験活動を取り入れたりする工夫をしている。</p> <p>(3) 目標に則し、児童の思いを育み、興味・関心に応じて主体的な活動ができるように構成されている。</p>
内容		<p>(1) 幼児期の育ちを小学校の学習につなぐ活動が掲載されており、児童が生き生きと学びに向かえるようなスタートカリキュラムの編成に配慮されている。</p> <p>(2) 四季の流れを軸に時系列で単元構成されている。植物の成長が分かるような写真配置や定点から描写された季節ごとのイラストにより、気付きの質の高まりを促している。</p> <p>(3) 地域や学校の実態に応じて活動が選択できるように多様な活動を例示し広がりをもたせている。</p> <p>(4) 「ほんとうのおおきさ いきものずかん」「かつどうべんりてちょう」などの資料を掲載し、学習を深められるような配慮がされている。学習の進め方や工作の仕方などの動画、図鑑などにリンクされたデジタルコンテンツが充実している。また、1人1台端末等を使って記録や観察をしたり、撮影した画像を大きく映したりする活動が紹介されており、ICTを活用した学習ができるように配慮されている。</p>		<p>(1) スタートカリキュラムに配慮したページを設け、できる自信とやりたい意欲を引き出し、学びの流れを作り出すよう工夫されている。</p> <p>(2) 学習活動が持続的、発展的になるように季節の流れに沿った単元構成がされている。1年から2年生への成長による活動の広がりに応じられるような工夫がされている。</p> <p>(3) 地域や学校の実態に応じて活動が選択できるように多様な活動を例示し広がりをもたせている。</p> <p>(4) 児童の実態や興味・関心に応じた「かくしゅうどうぐばこ」「せいかつことば」などの充実した資料が提示されている。自分の思いや考えを書く「きもちマーク」などのスペースがあり、活動の振り返りができるようになっている。二次元コードが豊富に掲載されており、児童が補充的・発展的に学習を深めることができるようになっている。</p>
造本		<p>(1) 文字サイズやフォント及び色が適切で、表紙は汚れにくいようにコーティングされており、2年間の使用に十分耐えられる造本である。</p> <p>(2) A4判の大きさで、厚さが適切で児童にとって扱いやすくなっている。</p>		<p>(1) 文字サイズやフォント及び色が適切で、表紙は汚れにくいようにコーティングされており、2年間の使用に十分耐えられる造本である。</p> <p>(2) A4判の大きさで、厚さが適切で児童にとって扱いやすくなっている。</p>

	発行者	11 学校図書	発行者	17 教育出版
書名	みんなとまなぶ	しょうがっこう せいかつ 上 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 下	せいかつ上 みんな なかよし せいかつ下 なかよし ひろがれ	
学習指導要領への対応	<p>(1) 単元の導入段階でダイナミックな写真やフォントを取り入れ、児童の活動への意欲付けを図る構成になっている。グループで対話し、課題解決ができる学習活動が工夫されている。</p> <p>(2) 全ての単元において、表現活動を中心に他教科との関連が図られていて、学習効果の高まりが相互に作用する構成となっている。</p> <p>(3) 目標に則し、具体的な活動や体験を通して、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力が養われるように構成されている。</p>	<p>(1) 授業展開が分かりやすい写真や「はっけんロード」を用いて学びの過程を視覚化し、主体的・対話的で深い学びへと導く工夫がされている。</p> <p>(2) 他教科との学習をつなぐ見方や考え方、伝え方を示した「学びのポケット」を設け、合科的・関連的な指導の充実を図る工夫がされている。</p> <p>(3) 目標に則し、具体的な活動例が示され、児童が主体的に取り組みながら、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力が養われるように構成されている。</p>		
内容	<p>(1) 安心・安全な学校生活を送れるような内容のイラストや写真で構成され、分かりやすく示したスタートカリキュラムになっている。</p> <p>(2) 人・もの・ことの対象ごとに単元が構成されている。ストーリー性をもった学習活動により、児童の思考が連続するような工夫がされている。文章や絵、顔マークによって、活動に取り組んだ自分をカードに記録することで、自己評価ができるような工夫がされている。</p> <p>(3) 遊びや自然等の豊富な素材や教材が提示され、各地域や学校の実態、児童の興味関心に応じて適宜扱えるよう、柔軟な構成となっている。</p> <p>(4) 「ものしりノート」や「まなびかたずかん」により、個々の児童の実態や興味・関心に応じられるような配慮がされている。デジタルコンテンツは、道具の使い方やおもちゃの作り方などの動画や図鑑などで構成され、児童の学びが広がるような内容になっている。</p>	<p>(1) 幼児期からの円滑な接続が図れるよう学校生活の様子を写真や動画で分かりやすく示したスタートカリキュラムとなっている。</p> <p>(2) 各単元の導入に、児童が興味関心をもつような「わくわくすいっち」を設け、学習の動機付けを図ったり、学習過程を「気付く・自分でできる・考える・伝える・挑戦する・自信をもつ」といったサイクルで繰り返し表したりと、見通しをもって発展的な学習ができるような工夫がされている。</p> <p>(3) 多様な活動や地域の紹介をしており、内容の広がりをもたせている。各地域の特色が分かる資料を掲載し、様々な地域の特性に気付いたり、自分たちの生活に目を向けたりできる内容になっている。</p> <p>(4) 各単元の終末に、活動を振り返る「ぐんぐんはしご」を設け、次の単元への意欲付けを図る配慮がされている。動画やワークシート、デジタル図鑑から構成される「まなびリンク」を設け、児童の学びを深め、広げるようなデジタルコンテンツを充実させている。</p>		
造本	<p>(1) 文字サイズやフォント及び色が適切で、表紙は汚れや濡れに強いようにコーティングされており、2年間の使用に十分耐えられる造本である。</p> <p>(2) A4変形判の大きさと、厚さが適切な上、軽量化にも配慮され児童にとって扱いやすくなっている</p>	<p>(1) 文字サイズやフォント及び色が適切で、表紙は汚れにくいようにコーティングされており、2年間の使用に十分耐えられる造本である。</p> <p>(2) A4判の大きさと、厚さが適切で、児童にとって扱いやすくなっている。</p>		

	発行者	26 信州教育出版	発行者	38 光村図書
書名		せいかつ 上 あおぞら せいかつ 下 そよかぜ		せいかつ たんけんたい 上 はじめてがいっぱい せいかつ たんけんたい 下 はっけん だいすき
学習指導要領への対応		<p>(1) 身近な生活場面を取り上げることで主体的な活動ができるように構成されている。活動への意欲化につながる挿し絵や写真が取り入れられている。</p> <p>(2) 絵や文、粘土、グラフ、ICTを活用した活動など、他教科と関連した多様な表現方法を示すことにより、思いや願いをより豊かに表現する力が育まれるように工夫されている。</p> <p>(3) 目標に則し、身近な人々、社会及び自然と関わりながら、個々の児童が思いや願いから意欲をもって主体的に活動できるように構成されている。</p>		<p>(1) 学習過程において、つまずいたり試行錯誤したりするときに大切になる考え方や活動、表現方法のヒントを示し、主体的・対話的で深い学びにつながる工夫がされている。</p> <p>(2) 児童の発達段階や活動内容に合った多様な表現方法が示されているとともに、「ひろがるせいかつじてん」では、児童自身で適切な表現方法を選択できるよう配慮されている。</p> <p>(3) 目標に則し、児童が思いや願いをもって、繰り返し活動しながら、主体的に考え、学びが深まるよう構成されている。</p>
内容		<p>(1) 低学年児童の発達の特徴を考慮し、遊びをはじめ具体的な活動や体験を自然豊かな写真や郷土の様子を感じられる挿絵を用いて表し、意欲的に学校生活を始められるように工夫されている。</p> <p>(2) 四季の様子が伝わるダイナミックな挿絵を用いることにより、繰り返し訪れる季節の特色を時系列で体験できるように工夫されている。</p> <p>(3) 信州の自然や行事を背景に構成された内容は、児童が地域の人々・もの・こととの関わりを深め、ふるさとへの愛着を育むものになっている。</p> <p>(4) 児童が活動の見通しをもてるように、吹き出しや見出し、写真が効果的に配置されている。巻頭に二次元コードを設け、個々の児童が必要に応じて動植物の写真等を閲覧することで、興味・関心が高められるように工夫されている。</p>		<p>(1) 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた「いちねんせいのはじまるよ」が設けられており、児童が安心感や自信、期待感をもって学校生活を始められるように工夫されている。</p> <p>(2) 単元の途中の「どうすれば」等の問いかけにより、学習活動が持続的・発展的になるように工夫されている。</p> <p>(3) 地域や学校の実態に応じて活動が選択できるように多様な活動を例示し広がりをもたせている。</p> <p>(4) 四季の自然の写真などを掲載した「きせつのなかまたち」や学び方を示した「ひろがるせいかつじてん」は、児童が必要に応じて活用できるように配慮されている。「けんこう」「どうぐ」「あんぜん」「ちかづかない」という4つのデジタルコンテンツにより、個々の児童の実態に応じて動画を視聴することができる。</p>
造本		<p>(1) 文字サイズやフォント及び色が適切で、表紙は汚れにくいようにコーティングされており、2年間の使用に十分耐えられる造本である。</p> <p>(2) A4判の大きさで、厚さが適切、右開きで、児童にとって扱いやすくなっている。</p>		<p>(1) 文字サイズやフォント及び色が適切で、表紙は汚れにくいようにコーティングされており、2年間の使用に十分耐えられる造本である。また、別冊資料は野外での活動に耐えられる加工がされている。</p> <p>(2) A4判の大きさで、厚さが適切で児童にとって扱いやすくなっている。</p>

	発行者	61 啓林館
書名	わくわく せいかつ 上 いきいき せいかつ 下	
学習指導要領への対応	<p>(1) 単元導入に表情豊かな児童のダイナミックな写真や問いを活用し、興味・関心をもって主体的に学べる構成になっている。児童の思いや願い・気付きが、次の活動につながるように、活動へ誘う言葉や活動の気付きの言葉を紙面右下に設定し、連続性のある深い学びになるように工夫されている。</p> <p>(2) 言葉、絵、動作、劇化、ICTの活用など多様な表現活動を、発達の段階や他教科等との関連、中学年以降への接続などに配慮しながら段階的に設定し、思考力を深め、豊かな表現力が身に付くように工夫されている。</p> <p>(3) 目標に則し、児童が思いや願いをもって、主体的に学習活動ができるよう構成されている。</p>	
内容	<p>(1) 幼児期の豊かな学びや育ちの様子を写真で例示したスタートカリキュラムが構成され、児童が安心感と自信、意欲をもって学校生活が始められるように工夫されている。</p> <p>(2) 各単元の流れを単元導入「わくわく」・主な活動「いきいき」・振り返り「ぐんぐん」の3段階で構成し、児童の意欲的な活動を繰り返すことにより、深い学びができるようになっている。</p> <p>(3) 地域の自然や施設、人に繰り返し関わることで、地域の実態に即した活動が展開できるようになっている。</p> <p>(4) 個々の児童の知的好奇心や探究心をくすぐる豊富な資料が掲載された「びっくりずかんライブ」「がくしゅうずかん」「デジタルたんけんブック」により、発展的な学習活動ができるように配慮されている。</p> <p>低学年の発達や特性及び生活科の特質に配慮しながら、1人1台端末等を活用した活動が例示されている。</p>	
造本	<p>(1) 文字サイズやフォント及び色が適切で、表紙は汚れにくいようにコーティングされており、2年間の使用に十分耐えられる造本である。</p> <p>(2) AB判の大きさで、厚さが適切で児童にとって扱いやすくなっている。</p>	